

準備書についての技術委員会意見等集約表(暫定版=第2回会議までの分)(案)

注)「意見」:技術委員会から知事に対して述べる環境保全の見地からの意見(知事意見の作成に反映される)

「指摘」:今後評価書作成に当たり記載内容について整備を求める指摘

番号	区分	委員名	発言要旨	意見	指摘	他の意見等への集約または不採、その理由	委員会意見又は指摘(案)	(参考)事業者等の説明要旨
1	全般	片谷	【第1回会議】 ・事業者独自の取組みについて、地域にお住まいの住民からのリアクションをまとめたものはあるか。 ・事業者見解を回答として示すことで、了解をいただけたのか。			[不採] 審議のために詳細な説明を求めたものであるため。		・方法書及び準備書の段階で素案を提示し、意見募集を行い、提出されたご意見に対して事業者の見解を回答しています。 ・ご意見に対して、現時点での見解を説明させていただいたもので、ご了解を得られたものとは認識しておりません。
2	全般	佐藤	【第2回会議】 ・当準備書に対しては63個の意見が出ており、ずいぶん多いように感じるのですが、こういった案件では一般的にこのくらいの数はあるのか。			[不採] 審議のために詳細な説明を求めたものであるため。		・今回は5名の方からいただいた意見を準備書の項目に分け、63項目とさせていただきますが内容につきましては重複したものがございます。 ・長くやらせていただいている経験において、長野県内もしくは他県の事例で、1,000通以上の意見書が提出された案件もありました。(片谷委員)
3	全般	塩田	【第2回会議】 ・環境技術が発達してきている中、アセスメントの中身そのものが発展しているように思えない。 ・先進的な技術を調べ、周辺住民に対し安全安心を提供するような方策を考えていただきたい。			[不採] 県の環境影響評価手続のあり方に関する発言であるため。		・長野県環境影響評価技術指針及びマニュアルについては、今後必要に応じて改定していく姿勢である。 ・事業者に過大な負荷を掛けることになるので、非常に慎重かつ必要な知見の上、時代にあったような長野県として先進を行くと言われるような指針を作っていくと思っています。(事務局 清水) ・国と県の制度は相互に刺激しあい、経験も蓄積されてきているため、いずれはマニュアルを改訂しなければとは思っております。(亀山委員長)
4	全般	片谷	【第2回会議】 ・評価書については我々が審査する機会がないため、記載の変更や数値データの追加等は可能な限り準備書を審査する間にお示しいただきたい。よりよい、より精度の高いアセスメントになるよう事業者としての対応をお願いしたい。			[不採] 評価書作成以前の過程における対応について求めたものであるため。		・いただいたご意見については、次の技術委員会できちんと説明をさせていただきます。
5	全般	亀山	【第2回会議】 ・この場で議論や質疑があるものについてはこの場で対応いただき、評価書はその結果が評価整理されたものにしていただきたい。 ・以前の事例で、回答いただく内容について、評価書の前段階で個別にいただいたこともあったので、それも含めて評価書前に終わりと言える状態にさせていただくことがベストかと思う。			[不採] 評価書作成以前の過程における対応について求めたものであるため。		

番号	区分	委員名	発言要旨	意見	指摘	他の意見等への集約または不採、その理由	委員会意見又は指摘(案)	(参考)事業者等の説明要旨
6	全般	片谷	<p>【第2回会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として少し説明等の丁寧さに欠けるという点を感じており、よりレベルの高いアセスメントという観点からすれば、考慮できることはなるべく考慮するという姿勢は持っていただく必要がある。</li> <li>・原発事故等の想定外のことについては影響評価の対象ではないことは事実ではあるが、先に事故対策をきちんとしていることをしっかり説明し、なお環境影響評価の対象には含まれていない項目とさせていただくことはよいが、住民の方がご指摘、懸念をされていることについては、前向きな回答をしていただきたい。</li> </ul>		指摘		よりレベルの高いアセスメントの観点から、住民からの指摘や懸念に対する回答については丁寧な説明に努めること。 (番号9を集約)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者の見解につきましては、できる限り、ご意見の趣旨に沿った形で回答しておりますが、今回の環境影響評価に直接関係しないと思われるものについては、見解を差し控えていただきました。また、事故対策等については、住民の皆様には説明をしてまいります。</li> </ul>
7	4-1 大気質	片谷	<p>【第1回会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の排ガスに関する計画値について、準備書328ページにおいて予測条件に不確実性があるという記載があるが、最大値で予測しているのであればこの懸念は本来ないはずで、記載は適切でないのでは。</li> <li>・現況施設の値をバックグラウンドにして、尚かつ新しい施設の排ガスの影響を上積みした値を予測値とするような安全な予測値となっているようであれば、その旨をきちんと説明をする必要があるのではないか。</li> </ul>		指摘		大気質の予測手法に係る記載の中で説明が不足している部分については必要に応じ注釈を加え、評価書において適切な表現とすること。 (番号10を集約)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排ガス濃度については最大値ですが、影響要因となる計画施設の仕様や条件が固まっていないことから、不確実性という表現をしています。表現については検討してまいります。</li> <li>・大気質のバックグラウンド濃度については、既存焼却施設の排ガスの影響を含んでおります。評価書において修正したものを記載します。</li> </ul>
8	4-1 大気質	片谷	<p>【第1回会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大気質のマニュアル等に示された今回の予測手法が、この事業にあった手法であるか確認が取れていないとしたら、評価書までには確認をとっていただきたい。</li> </ul>		指摘		マニュアル等に記載された予測手法が事業に対し適切か再確認を行い、その結果を記載すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地の実情に応じた検証が可能かどうかを確認し、対応してまいります。 (別添「資料2の8番関連」参照)</li> </ul>
9	4-1 大気質	片谷 亀山	<p>【第1回会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民意見の中で、予測の信頼性について危惧されたものがあるので、より丁寧な説明について評価書までに対応いただきたい。</li> </ul>			番号6の指摘に集約		<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価書において丁寧な説明となるように対応します。 (別添「資料2の9番関連」参照)</li> </ul>
10	4-1 大気質	片谷	<p>【第2回会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備書に対する意見の中で、大気質に係る有効数字に関する疑義があり、それに対しての回答をしていますが、この中で有効数字についての解釈を評価書に記載していただきたい。 また、一酸化窒素については、健康への影響がより大きい二酸化窒素で代用して調査を行ったことについても評価書に記載していただきたい。</li> </ul>			番号7の指摘に集約		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘の事項につきましては、評価書に記載します。</li> </ul>

番号	区分	委員名	発言要旨	意見	指摘	他の意見等への集約または不採、その理由	委員会意見又は指摘(案)	(参考)事業者等の説明要旨
11	4-1 大気質	梅崎	<p>【第1回会議】</p> <p>・一般環境大気の測定結果について、停炉時と稼働時の測定結果に差がないという記述のみで、評価がされていない。</p> <p>・降下ばいじんについて、施設が新しくなることで数値が減るものと解釈してよいか。</p>			<p>[不採]</p> <p>審議のために詳細な説明を求めたものであるため。</p>		<p>・焼却施設の煙突排ガス以外の排出源が多く、停炉時と稼働時の比較をしても明確に切り分けることは困難であり、また濃度の差が明確ではなかったことから、現況施設の稼働時の評価に及ばなかったため、稼働時の測定濃度の評価は明記しておりません。</p> <p>・明確に下がるとは言い切ることはできません。また、バックグラウンド濃度に現況施設の排出分を含む条件としているため、現在の濃度より良くなるという結果としておらず、現在の濃度よりわずかに上昇する結果となります。</p> <p>(一般論として大気中の物質濃度は、全くその拡散、気象の条件が一緒であれば排出量に比例するため炉が新しくなれば濃度は下がる。だが今回の場合、隣の敷地であるので、拡散の状況は同じとは言えない。そのため事業者が説明したとおり、減るかどうかは分からない。または大きくは増えないという形なのでは。[片谷委員])</p>
12	4-1 大気質	野見山	<p>【第1回会議】</p> <p>・準備書278ページの環境汚染に対する施設等の整合性に関する評価結果において、近接民家における二酸化窒素の予測値が目標の0.04を越えており、対策によって1時間値の日平均予測濃度が0.0393まで減少しているが、この値では基準に近すぎるため、対策も含めてもう少し検討し、予測値を出すことはできないか。</p>		指摘		<p>二酸化窒素の予測評価については、前提条件や保全措置等の検討内容をより詳しく記述し、分かりやすい内容とすること。</p>	<p>・近接民家における二酸化窒素の予測値については、最大の危険側の条件を足し合わせたものであるため、その対策として、建設機械を近接民家寄りに集中させない、工事車両の台数を減らす等の保全措置などが考えられます。</p>
13	4-2 騒音	塩田	<p>【第1回会議】</p> <p>・資料1 49～52ページに予測結果をまとめた表があるが、暗騒音と稼働する機械の騒音レベルを分けて表に示した方がよいのではないか。</p>			<p>[不採]</p> <p>準備書において対応がされているため。</p>		<p>・資料1では詳細の説明は省きましたが、準備書の356ページ及び379ページに暗騒音と寄与値を分けた結果を記載しております。</p>
14	4-2 騒音	塩田	<p>【第1回会議】</p> <p>・今までは現場測定による現況値と予測値を比較するようなハード的な評価の仕方がほとんどであるが、継続的な測定をおこなうようなソフト的な考え方を評価に盛り込むことはできないか。データ蓄積の継続性ということは非常に重要なことかと思うので、考慮いただければよいのでは。</p>		指摘		<p>騒音については、データ蓄積のための継続的な測定について、可能な場合は記載を検討すること。</p>	<p>・対応できるかを含めて、検討してまいります。</p>
15	4-3 振動	塩田	<p>【第2回会議】</p> <p>・振動の予測について、予定地付近の地盤は同じ粘土質として予測に係る同心円を記載しているが、犀川の部分は粘土質と腐葉土質に分かれるのでは。</p> <p>市街地は実線が良いと思うが、河川部については点線に修正した方がよいのでは。</p>		指摘		<p>振動予測の同心円については、地盤の土質データを反映した記載とすること。</p>	<p>・犀川堤防の以南については、ご指摘のとおり修正をさせていただきます。</p> <p>(別添「資料2の15番関連」参照)</p>

番号	区分	委員名	発言要旨	意見	指摘	他の意見等への集約または不採、その理由	委員会意見又は指摘(案)	(参考)事業者等の説明要旨
16	4-3 振動	塩田	【第2回会議】 ・今までの経験の中で、予測計算したものについて振動測定器等で検証したことはあるか。			[不採] 審議のために詳細な説明を求めたものであるため。		・別の事例で、予測値と実際の値の比較を行ったことはあります。予測値よりも測定値の方が小さくなる傾向にあります。
17	4-4 低周波音	塩田	【第1回会議】 ・音圧レベル80Hz以下の音圧レベルの分析値が資料編に載っているため、周波数1Hzから80Hzまでのオーバーオール音圧レベルも一緒にグラフ化するか、音圧レベルとG特性のグラフを別にして表示をすれば、稼働したときに音圧レベルがどうなるかが分かりやすくなるのでは。		指摘		音圧レベル80Hz以下の分析値について、データの示し方をより分かりやすくすること。	・評価書の作成において、これらのデータの示し方を検討してまいります。
18	4-5 悪臭	片谷	【第1回会議】 ・廃棄物運搬車両の洗車にともなう悪臭が現行の施設であるようだが、新しい施設運搬車両の洗車はどこでするのか。パッカー車の内部を蓋を開けて洗うことで、臭気が発生しやすくなるのが想像できる。  ・もし内部洗浄を実施する場合は、類似事例について調べ、悪臭苦情が発生していないかを確認していただきたい。	意見			廃棄物運搬車両の内部洗浄を行う場合は、類似事例を調査するなどして、必要により悪臭苦情が発生しないよう配慮すること。	・屋内に洗車場を設ける計画です。また、パッカー車の内部洗浄については、今のところ計画していませんが、今後、必要があれば検討していきたいと考えております。  ・了解しました。
19	4-6 水質	鈴木	【第1回会議】 ・降雨時調査を増やしていただいたことは非常に良いことであるが、降雨のピークの時間と調査時間にずれが生じているため、工事の事後調査時には、降雨時にすぐに測定してもらいたい。	意見			工事中における降雨時の事後調査については、適時に実施すること。	・工事中の降雨時の事後調査については、現場に作業員がいるため、降雨時の速やかな採水等の対応ができるものと考えております。
20	4-6 水質	鈴木	【第1回会議】 ・土砂降りの際、もっと早く沈砂池では吸収できず流れるということも考えられるため、ご考慮いただきたい。	意見			工事中において、豪雨に伴う濁水が流出する恐れがある場合は、適切に保全対策を講ずること。	・仮設沈砂池等の容量については、具体的な整備計画が確定した後、検討を進めていくことになるかと考えております。
21	4-7 水象	富樫	【第2回会議】 ・準備書475ページの地下水の利用状況については、使用者の数、予定地との距離等基本的なデータを示していただきたい。  ・計画施設の建設時における地下水の揚水で、どの程度の揚水が行われ、どの様な影響があるのかについては、詳細設計を待たずに、現段階の計画で予測をしていただく方が良いと思う。準備書の内容について見ているので、評価書の地点ではなく、できれば現段階の計画で次回に示していただきたい。	意見			地下水の揚水量や影響の予測については、類似事例を参考にするなどして、現段階において考えられる条件で予測し、記載すること。	・井戸の利用状況の基本的なデータは、次回の技術委員会でお示しさせていただきます。  (別添「資料2の21番関連」参照)  ・計画施設の建設に伴う掘削工事の影響については、次回の技術委員会でお示しさせていただきます。  (別添「資料2の21番関連」参照)

番号	区分	委員名	発言要旨	意見	指摘	他の意見等への集約または不採、その理由	委員会意見又は指摘(案)	(参考)事業者等の説明要旨
22	4-8 土 壌 汚 染 他	小澤	<p>【第1回会議】</p> <p>・準備書498ページの土壌汚染の予測内容に関する「焼却施設の稼働の影響」について、方法書では環境基準項目として評価することになっていたが、準備書においてはダイオキシンのみ評価するという形になっている。この変更の理由はあるのか。</p> <p>・方法書で取り上げられた事業の計画値(排ガス・埋立処理物関係)の中で、準備書の中で落ちているものがいくつか見られるが、変更された理由はあるのか。</p>			<p>[不採]</p> <p>審議のために詳細な説明を求めたものであるため。</p>		<p>・焼却施設からの排ガス中のダイオキシン類による周辺土壌の影響が考えられるため、環境基準項目のダイオキシン類を選定したものです。なお、方法書での記載は、環境基準項目の中にダイオキシン類を含ませてしまったため、このような表記になったものです。</p> <p>・廃棄物の排出等については、法規制に従い行うもので、当連合が独自に上乘せして計画値を定めるものではないと判断したことから削除したものです。また、一酸化炭素の計画値については、予測評価の対象としないことから、準備書での掲載は削除しましたが、事業計画では掲げております。</p>
23	4-10 植 物	大塚	<p>【第1回会議】</p> <p>・限定された個体で見ているため、樹木活力度の調査範囲について、良好といえるか。</p> <p>・準備書522ページに秋季以降の調査結果は資料編に掲載とされているが、どこに掲載されているのか。</p>			<p>[不採]</p> <p>審議のために詳細な説明を求めたものであるため。</p>		<p>・活力度調査については、既存施設の近くで、周りの木の圧力を受けていない等の樹木を選定し、調査しました。</p> <p>・秋季以降の結果については欠落しているため、後ほど資料を整理してお示しいたします。</p>
24	4-11 動 物	陸	<p>【第1回会議】</p> <p>・準備書556ページにおいて、種の同定がされていないためカウモリ目の種名が「カウモリ目の一種」とされているが、準備書112ページのカウモリ目の種のリストの中にはいくつか貴重な種が含まれているため、観察した種であるかということの確認が必要ではないか。</p> <p>・サンマリンながのを撤去することから、そこをねぐらにしているカウモリがいるかということの調査も必要ではないか。</p>		指摘		カウモリ目の調査結果については、確認された事項により詳細を記載すること。	<p>・カウモリ目については、捕獲しないと種名を判断することができないため、今回はカウモリ目の一種という表記としていますが、バットディテクターによる周波数が約45~50キロヘルツであること、またその大きさから、アブラカウモリでほぼ間違いないと考えております。</p> <p>・サンマリンながのについても調査は行いましたが、カウモリ目の出入りは確認されませんでした。</p>
25	4-11 動 物	中村 (雅)	<p>【第1回会議】</p> <p>・資料1の77ページについて、影響はほとんどないという判断だが、ほとんどないと考えると、事後調査はしないのか。</p> <p>・考えられないから調査をしないということはおかしいと思う。逆にこういう工夫をしたら増えたと、住民が喜ぶようなことをやってもいいと思う。</p>			<p>[不採]</p> <p>本事業においては事業者に対し過大な要求となるおそれがあるため。</p>		<p>・犀川河川敷に生息する動植物や生態系の事後調査は実施ませんが、水路の水質や騒音振動といった事後調査を行い、現況とほぼ変わらないという確認が取れれば、河川敷の動植物や生態系への影響はないと考えております。</p> <p>・事業者として新しい施設が出来て、ここが良くなったと言っただけよう、周辺整備という面からも関係市町村と調整を行い、検討させていただければと思っております。</p>

番号	区分	委員名	発言要旨	意見	指摘	他の意見等への集約または不採、その理由	委員会意見又は指摘(案)	(参考)事業者等の説明要旨
26	4-11 動物	中村 (雅)	【第1回会議】 ・大幅な川の増水の際、中の薬剤や使っているものが流れ出てしまうのではという気がするが、そういった問題はないか知りたい。			[不採] 審議のために詳細な説明を求めたものであるため。		・計画施設においては、災害時はもとより、二次的な災害を防ぐための対策については、施設を造る計画の中で当然配慮しなければならないことと考えております。
27	4-13 景観	亀山	【第2回会議】 ・準備書638ページからのフォトモンタージュについては、煙突や建物の形状などの色彩をきちんと示していただきたい。もし決まっていなければ、そのことを書いていただくことが大事である。 ・一部の景観図で、輪郭がはっきりしないものがあるので、修正すること。		指摘		形状や色彩に配慮したフォトモンタージュ写真を示すこと。計画が定まっていない場合は、評価書にその旨を記載すること。	・煙突等施設の形状・色彩については、詳細設計が固まっておらず、特に色については付近の景観を踏まえ現状になじむ形を考えており、それを踏まえて無地の白とさせていただきます。なお、そのことについて、評価書に記載します。 ・輪郭がはっきりしない景観図については、次回の技術委員会でお示しさせていただきます。  (別添「資料2の27番関連」参照)
28	4-14 触れ合い活動の場	陸	【第1回会議】 ・評価方法について、現場を実際に触れ合い活動として使っている方々がどう評価をしているのか、感じているのかということに基づいて評価をしないとちゃんとした評価にならないと思うがどうか。	意見			触れ合い活動の場については現況を的確に把握して、長期的な予測評価について検討した上、必要に応じ記載すること。 (番号29を集約)	・現在、既存焼却施設が稼働する中で、触れ合い活動の場の利用がなされており、このことから、既存施設の隣接地に建設する計画施設による直接的な影響はないと考えております。また、交通量が10,000台を超える堤防道路により市街地と隔絶されているため、本事業の影響は直接及ばないと考えております。
29	4-14 触れ合い活動の場	亀山	【第1回会議】 ・現況を良しとするような前提で言うのではなくて、こういった空間がどう利用されるかということについて、長期的に考えた時の予測評価の考え方というものもあるのではないか。			番号28の指摘に集約		・現在の河川敷の土地利用については、ほとんどが農用地の利用となっており、河川敷へのアクセス道路も整備されていないことから、それほど活発ではないという現状でした。なお、この現状を良しとして予測・評価をすることについては、今後検討させていただきたいと思っております。
30	4-17 温室効果ガス	亀山	【第1回会議】 ・溶融炉で使われる電気については、どういった状況か。 ・溶融炉のことがほとんど出てこないですので、ここはきちんと書き分けておいた方が良いと思います。		指摘		焼却施設のうち、溶融炉の稼働に伴う電力の状況影響について、書き分けて記載すること。	・溶融炉の稼働電力については準備書に記載しておりませんが、準備書678ページに溶融炉を含めた焼却施設の稼働電力を記載していることをご理解いただきたいと思います。 ・溶融炉の記載について、不足している部分を改めさせていただきます。